

令和7年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

アイ・あい だより



6月号

梅雨の季節ですね！



6月に入り、雨の降る日が増えると、じめじめと蒸し暑い日もあれば、肌寒い日もあります。油断すると風邪をひきやすい季節です。雨の多い季節ですが、カタツムリやあじさいなど、この季節ならではの自然と触れ合ったり、晴れ間を見つけて運動したりして楽しみましょう。

第1回 授業公開・幼小学部運動会

日時 令和7年6月21日(土)

8:50~11:40

幼小学部運動会では、本校ならではの競技があります。
子どもたちの頑張っている姿を是非ご覧ください。



サマースクール

日時 令和7年7月28日(月) 10:00~12:00

対象 教育相談に来られている幼児児童生徒及びその保護者、兄弟姉妹

参加費 100円(保険料等)

締切 7月11日(金)

※ご家庭で検温を済ませてから来校してください。

幼児用の浅いプールもあります。

プールで思いっきり遊びましょう！



創立記念日



6月10日(火)は本校の創立記念日です。明治38年(1905年)に左近充孝之進(さこんのじょう こうのしん)が私立神戸訓盲院として設立しました。今年度は創立120周年です。120年の歴史を持つ本校は、県内唯一の県立視覚特別支援学校として「創造」「自主」「独立」を校訓に個々のニーズに応じた視覚支援を行っています。

また、校内支援だけでなく地域の学校園に在籍する視覚障害の幼児・児童・生徒の学習を支援するセンター的な役割も果たすなど、校外に対しても支援を行っています。

年少児の読みに繋がる活動

年少の頃になると同年代の子どもと会話ができるようになっていたり、大人に対して、質問が増えたり、物を何かに見立てて遊ぶようになっていたりします。そういった言葉の理解が読みに繋がっていきます。そこで、読みに繋がる具体的な活動としては、①写真や絵などを見て、その名前を言う。②単語や、物を表すシンボル(トイレのマーク等)がわかり、選択することができる。③絵と短い単語を結びつけることができる。等の活動が挙げられます。しかし、見えにくい子どもにとって、日常にあふれているシンボルや文字を認識するのは困難なことです。なるべくシンプルな写真や絵、シンボルを提示し、あえて見せてあげることがとても重要です。

3歳までと年少児の書きに繋がる活動

<3歳まで>

3歳までの書きに繋がる活動としては、①左右斜めになぐり書きをする。②親指と人差し指で物をつかむ。③紙を丸める。④積み木を重ねる。等の手指の巧緻性を上げることが必要です。なぐり書きをする際は、自分で書いたものを自身でフィードバックできるように、線の細い鉛筆や色鉛筆を使用するのではなく、ペンやクレヨンを使用するのが良いでしょう。親指と人差し指の2指を使用して物をつまむことは、ハンカチや靴下を洗濯ばさみに挟んで干すことをお手伝いにしてはどうでしょうか?あえてするのはではなく、生活の中に自然に取り入れられるといいですね。

<年少>

年少の書きに繋がる活動としては、①自分の名前を文字カードで作る。②白紙に縦線を書く。③積み木等で簡単な形の模倣ができる。等があります。文字を書くということは模倣から始まります。積み木を使用する際は、子どもの見え方に考慮しつつ、最初は形だけに注目させ、次に形に加えて色の要素も入れてみる等、少しずつレベルアップすると良いでしょう。